

令和5年中における少年非行の概況

1 概況

令和5年中における刑法犯少年の検挙・補導人員は109名で、前年に比べ43名増加しています。

犯罪少年は93名で、前年に比べ46名増加、触法少年は16名で、前年に比べ3名減少しています。

また、成人を含めた全刑法犯検挙人員に占める少年の割合は9.9%で、前年に比べ3.4ポイント増加しています。

刑法犯少年の再非行率は19.3%で、再犯者率は21.5%でした。

(①参照)

2 特徴的傾向

(1) 中学生、高校生による非行が6割

中学生・高校生による非行が61.5%を占めています。

(①参照)

(2) 窃盗犯が最も増加

前年に比べて凶悪犯以外の罪種で検挙・補導人員が増加しています。

窃盗犯の検挙・補導人員は67名と前年に比べて29名増加しています。

その他の刑法犯とは、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯以外の刑法犯の総称です。

(②参照)

(3) 初発型非行は増加

動機が単純で、犯行が比較的容易な非行のことを初発型非行といいます。

初発型非行は59名と前年に比べて28名増加しており、全体の54.1%を占めています。

(③参照)

(4) 薬物乱用少年は増加

令和5年中における薬物乱用少年の検挙・補導人員は7名で、いずれも大麻を乱用した少年です。

令和元年以降、少年の薬物事犯は、大麻が主流になっています。

(④参照)

(5) 不良行為少年は増加

不良行為少年の補導人員は566名で、前年に比べ71名増加しています。

行為別では、

- ・飲酒 36名 (前年比 -2名)
- ・喫煙 122名 (前年比 +32名)
- ・深夜はいかい 227名 (前年比 +30名)
- ・その他 181名 (前年比 +11名)

で、喫煙、深夜はいかいが大きく増加しています。

(⑤参照)

(6) 福祉犯被害少年は増加

少年の福祉を害する犯罪被害により保護した少年は72名(うち女子60名)で、前年に比べ19名増加しています。

(⑥参照)

① 刑法犯少年の検挙・補導状況

年次	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	増減数
犯罪少年	108	96	63	47	93	46
触法少年	12	21	26	19	16	-3
合計	120	117	89	66	109	43
小学生割合	5.0%	8.5%	15.7%	21.2%	8.3%	-12.9P
中学生割合	18.3%	15.4%	20.2%	31.8%	16.5%	-15.3P
高校生割合	37.5%	35.0%	27.0%	22.7%	45.0%	22.3P
全刑法犯に占める少年の割合	10.8%	10.2%	7.6%	6.5%	9.9%	3.4P
再非行率	19.2%	29.9%	20.2%	16.7%	19.3%	2.6P
再犯者率	21.3%	35.4%	25.4%	19.1%	21.5%	2.4P

② 検挙・補導の罪種別

年次	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	増減数
凶悪犯	4	6	9	1	1	0
粗暴犯	24	17	10	9	14	5
窃盗犯	71	75	43	38	67	29
その他の刑法犯	21	19	27	18	27	9
合計	120	117	89	66	109	43

③ 初発型非行の状況

年次	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	増減数	
窃盗	万引き	34	29	14	17	22	5
	オートバイ盗	1	4	1	0	4	4
	自転車盗	19	17	16	12	25	13
占有離脱物横領	4	6	2	2	8	6	
合計	58	56	33	31	59	28	

④ 薬物乱用少年の検挙・補導状況

年次	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	増減数
麻薬等	1	0	0	0	0	0
大麻	4	4	5	1	7	6
覚せい剤	0	0	0	0	0	0
シンナー	0	0	0	0	0	0
合計	5	4	5	1	7	6

⑤ 不良行為少年の補導状況

年次	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	増減数
飲酒	36	21	19	38	36	-2
喫煙	89	88	84	90	122	32
深夜はいかい	127	106	150	197	227	30
その他	122	101	107	170	181	11
合計	374	316	360	495	566	71

⑥ 福祉犯被害少年

年次	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	増減数
被害少年	34	42	39	53	72	19
うち女子	24	33	29	42	60	18
うちインターネット利用	10	8	10	10	16	6